株式会社 宝石堂

【所在地】〒780-0841　高知県高知市帯屋町1-7-15
【TEL】088-824-3388 【FAX】088-824-3391
【E-mail】service@hosekido.com
【URL】https://hosekido.com/
【設　立】1982年(昭和57年)7月15日 ※創業1975年(昭和50年)
【従業員】11名　【資本金】1,000万円
【主たる業種】その他小売業

取締役
平田明博

企業概要　ブライダル関連のジュエリーを中心に、宝石・貴金属・腕時計の販売・修理を行い、オリジナルジュエリーの製作を手掛ける。

平成26年度 補正

ものづくり技術　デザイン、精密加工、接合・実装、測定計測　設備投資のみ

高知初のブライダルリング自社生産体制を構築するための設備投資事業

事業計画概要

近年オリジナルの指輪が求められているブライダルリング業界で、高知から発信するブランド「ひな」を外注生産から自社生産可能な体制を構築する為に本補助事業によりレーザーマーカー、GIA顕微鏡等を導入する。それにより小売店から革新的な「ものづくりができる会社」に成長して利益と業績と雇用を伸ばす。

事業取組みの経緯

結婚の際、挙式の有無にかかわらずマリッジリングを購入する人の割合は約95％で、今後も突然に落ち込む要因はないと考えられる。しかし、人口減少が進む高知県では婚姻組数も徐々に減少することが見込まれるため、全国展開している自社製品の卸販売の強化が必要となっていた。

ブライダルリング業界では、10年ほど前から「自分たちらしい形」としてマリッジリングに個性を求めるカップルが増え、購入単価も上昇している。当社では、2007年にエンゲージリング・マリッジリングのブランド「ひな」を立ち上げ、オリジナルの指輪の製造・販売に着手。2009年に出展した国際宝飾店IJTで約10店舗の新規取扱店を獲得し、卸業をスタートした。2011年には新宿伊勢丹、新潟伊勢丹でも販売が始まり、2017年8月の時点で取扱店舗は全国に27店舗となった。

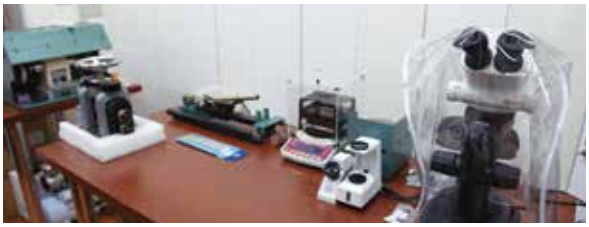
「ひな」のオリジナルリングは70種ほどのデザインがあり、お客様の希望に応じてアレンジ加工ができ、要望によってフルオーダーの製作も行う。高知県内には貴金属加工の地場産業がほとんどなく、従来はその製造のほとんどを東京や山梨の大規模工場に外注していた。コストがかかる上に時間がかかり、商品に不具合があった場合にも外注先に返送して修整する時間が取れず、クレームに対応できない事例もあった。新製品の試作にも時間とコストがかかり、商品開発がスピーディーにできない状況にあった。

また、社内には指輪の加工技術を持つベテラン職人がいるが、簡易の設備しかないため製造できる製品と加工に限りがあった。

これらの課題を解決するために、本補助事業を利用して自社内に製造・加工の設備を整え、コスト削減と商品開発の精度向上、製作期間の短縮を図ることとした。

実施内容

指輪の製造は21工程に分かれており、そのうちの13工程を内製化するべく18機種の機器を導入。2016年2月に工房スペースを拡大した。



◎GIAプロフェッショナル顕微鏡／ダイヤモンドの類似宝石等の見極めを行う
◎マルチテスターⅢ／宝石の機械的な鑑定を行う
◎ダイヤモンドセレクターⅣ／宝石の機械的な鑑定を行う
◎ジェムライト／宝石の鑑定時および加工作業時の照明
◎ローラー／貴金属等を板状に加工する
◎線引き盤／貴金属等を線状に加工する
◎高温バーナー／貴金属を接合する
◎作業台／貴金属等の加工時に使用する
◎集塵バフモーター／貴金属等を磨く

◎マイクログラインダー／貴金属等の細かい部分を磨く
◎平面研磨機／貴金属等を平らに磨く
◎実体顕微鏡／宝石の留めや加工の仕上げのために使用する
◎サンドブラスター／貴金属等のつや消し加工のために使用する
◎コンパクト集塵機／加工時に発生する塵を吸い取る
◎レーザーマーカー／貴金属等に刻印やマーキングを行う
◎貴金属テスター／貴金属等の重さを量り、含有量の分析をする
◎コンピューターゲージ／完成品の寸法計測を行う
◎洗浄機／貴金属等の汚れを落とす

▲GIAプロフェッショナル顕微鏡

▲集塵バフモーター

▲マイクログラインダー

▲サンドブラスター

▲レーザーマーカー

▲洗浄機

事業取組みの成果

近年、マリッジリングに「自分たちらしい形」を求めるカップルが多く、当社ブランド「ひな」のリングは約70種類のデザインから選んだ指輪を、好みの形にアレンジしてオーダーできる。形だけでなく、素材、色、表面の仕上げなどを選択し、「自分たちのための指輪」を一から作ることで、マリッジリングにストーリーが生まれ、大きな説得力となる。

従来、製作は県外の大規模工場に外注していたが、本補助事業により18種の機器を導入することで、指輪製造の21工程のうち宝石分析、地金板の生成、パーツの接合、磨き、石留め、仕上げ、刻印、貴金属分析、重量分析、寸法計測、最終洗浄など13工程を自社で行うことができるようになり、約7割の作業を内製化する環境が整った。自社で加工できなかった指輪やジュエリーパーツの製作が可能となり、職人の手仕事の「味」を残した魅力ある表現ができる上、大幅なコストカットを実現した。

販売員がお客様の意向を聞き取ってデザインに反映させるが、内製化によってお客様の声が技術者にダイレクトに伝わり、的確なコンセプトワークが可能となってデザインの質の向上にもつながった。発注先の事情に左右されることなく納期を確定できる上、製造過程での変更にも対応でき、微調整をしながら製造することができるようになった。

自社内で試作品の製作も可能となったことで、イメージの確認が容易に、新製品の開発が短期間で行えるようになった。

また、宝石分析、貴金属分析など品質管理を行う機器の導入により、鑑定を自社で責任を持ってできるようになったことで、製品のクオリティーをゆるぎないものにすることができた。

さらに、日本語や手書きの文字も刻印でき、よりオリジナリティーを高めることができるレーザーマーカーを導入し、メーカーに外注していた刻印が自社でできるようになった。「ひな」ブランドだけでなく既製品の刻印にもスピーディーな対応が可能となった上、外注のコストも削減できた。

機器の導入により、熟練の職人の技術を発揮した製造・加工ができるようになり、さらにその技術を若い職人に伝承できる環境が整った。職人の育成に目処が立ったことは大きな成果である。

製品内容

●職人の手づくり感を残したマリッジリングの製作
●職人の手づくり感を残したペアブレスレットの製作
●お客様から依頼されたオリジナルリングの製作
●お客様の手書きメッセージをリングへ刻印

今後の活動予定・販売計画

導入した設備を生かしてより品質の高い製品を数多く作るためには、職人の技術向上が最優先の課題となる。製作・加工に対応できる範囲を広げ、製造の70％の作業を自社内で行い、その精度を高めていく。現在は販売員・技術者ともに不足している状況だが、早い段階で人数を拡充し、継続した技術向上ができる体制を整え、生産率の向上を目指す。

２～３年以内に、年に１度開催される国内最大のジュエリーフェアへの出展を計画しており、小売店からものづくり会社へとさらに歩みを進めていく予定である。

「ひな」は日本の四季をテーマにした和のブライダルリングであり、土佐和紙を使ったカタログでブランドイメージを確立し、他者との差別化を図っている。海外からも注目され、アジア諸国からの引き合いもあるため、今後は「ジャパンメイド」の強みを生かして海外への販売も視野に入れていく。

▲自社ブランド「ひな」商品カタログ